

置賜地域

高品質そば生産のための耕種基準

	立 地 条 件	生 育 の 特 徴
特 徴	<ul style="list-style-type: none"> • 気温の日較差が大きい盆地型気象である。 • 年間降水量は1,400mm前後で、その約半分は作物生育期の4～10月に降る。 • 土壌はグライ土が中心で、細粒強グライ土、細粒グライ土が多く、透水性に劣る反面生産力は高い。 	<ul style="list-style-type: none"> • 圃場の透水性が劣るため、湿害が生じやすい。 • 秋冷が比較的早いいため、秋作業の適期が限られる。
改善目標	<ul style="list-style-type: none"> • 適期播種による着果量の確保 	<ul style="list-style-type: none"> • 排水溝や明・暗きよの設置による排水対策 • 効率的な機械化作業体系の定着

2. 想定経営体

(1) そば栽培面積 40 ha (内作業受託25 ha)

土壌条件：細粒強グライ土

(2) 組 織 作業受託組織 オペレーター 2名

(3) 使用機械と作業体系・作業時間

作 業	排水対策	施 肥	耕 起	播 種	収 穫
使 用 機 械	トレンチャー	ブロードキャスター	トラクター30P、ロータリー	ロータリー、播種機(4条、3条)	コンバイン(大豆そば用)、軽トラック
内 容	排水溝・明きよ設置(隔年)	化成肥料散布	荒起し耕起	整地・播種	刈取り運搬
作業時間 hr/10 a	0.4	0.2	0.8	0.3	0.5

作 業	乾燥調製	合 計
使 用 機 械	循環型乾燥機 唐箕等	
内 容		
作業時間 hr/10 a	0.6	2.8

3. 栽培技術の特徴

- 機械化による効率的な作業体系
- 排水対策の実施
- 適期適作業の実施
- 適正な乾燥調製による品質向上

